

世田谷区における中小企業の景況

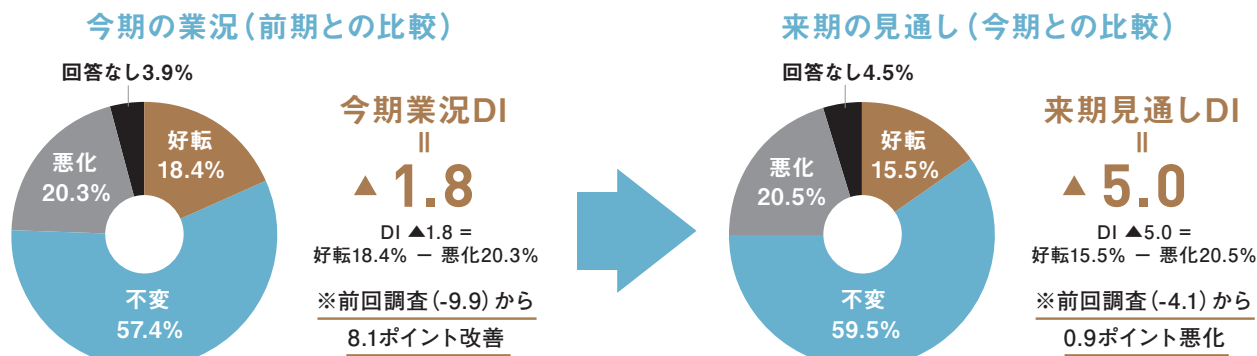
第56回調査実施概要

1.調査時期：平成28年7月1日～7月12日 2.対象期間：平成28年4月～平成28年6月期、および平成28年7月～平成28年9月期見通し 3.調査対象：支部会員中小企業（約2,802社）①製造業・建設業・運輸業・その他の業種（②～④を除く）…資本金3億円以下、または従業員300人以下 ②卸売業…資本金1億

円以下、または従業員100人以下 ③小売業…資本金5千万円以下、または従業員50人以下 ④サービス業…資本金5千万円以下、または従業員100人以下 4.調査方法：調査票郵送～郵送・FAXにて回収。世田谷信用金庫・昭和信用金庫に協力依頼。5.回収状況：合計380社（回収率13.6％）製造業…48社・不動産業…43社・小売業（飲食業含む）…67社・建設業…69社・卸売業…37社・サービス業…116社 ※数値については小数点第2位を四捨五入しており、計算値が一致しない場合がある。

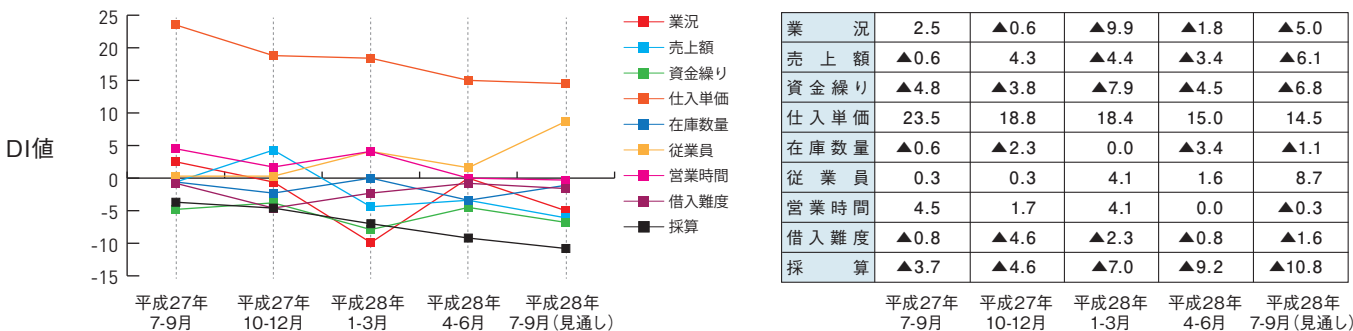
業況

今期（平成28年4月～6月期実績）の業況DIは、▲1.8ポイントで、前期から8.1ポイント改善し、3期ぶりの改善となった。来期の業況見通しDIは、▲5.0ポイントと、前回調査から0.9ポイントと4期連続、悪化が見込まれる。



主な指標別の傾向

今期は、資金繰り▲4.5（前期比+3.4）、借入難度▲0.8（同+1.5）、売上額▲3.4（同+1.0）の3指標のポイントが増加し、営業時間0.0（前期比▲4.1）、仕入単価+15.0（同▲3.4）など5指標のポイントが減少した。来期見通しは、従業員8.7（当期比+7.1）、在庫数量▲1.1（同+2.3）の2指標のプラスが見込まれる。



主要景況指数表[今期の状況(前期比)]

(注)調査項目：業況（好転⇨悪化）、売上額（増加⇨減少）、資金繰り（好転⇨悪化）、仕入単価（上昇⇨低下）、在庫数量（増加⇨減少）、従業員（増加⇨減少）、営業時間（延長⇨短縮）、借入難度（容易⇨困難）、採算（好転⇨悪化）

	業況	前年同期比	売上額	前年同期比	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	▲1.8	▲5.0	▲3.4	▲3.7	▲4.5	15.0	▲3.4	1.6	0.0	▲0.8	▲9.2
製造業	4.2	▲14.6	10.4	▲12.5	6.3	18.8	▲10.4	0.0	0.0	0.0	▲2.1
建設業	▲13.0	▲14.5	▲14.5	▲10.1	▲8.7	14.5	▲1.4	1.4	13.0	▲13.0	▲13.0
不動産業	9.3	7.0	9.3	11.6	7.0	20.9	▲2.3	2.3	7.0	▲4.7	▲4.7
卸売業	▲13.5	5.4	▲16.2	0.0	▲10.8	8.1	▲2.7	0.0	▲5.4	▲13.5	▲13.5
小売業	3.0	▲1.5	0.0	▲6.0	▲6.0	16.4	▲4.5	▲4.5	▲3.0	▲10.4	▲7.5
サービス業	▲0.9	▲5.2	▲5.2	▲1.7	▲7.8	12.9	▲1.7	6.0	0.0	▲5.2	▲11.2

主要景況指数表[来期の見通し(当期比)]

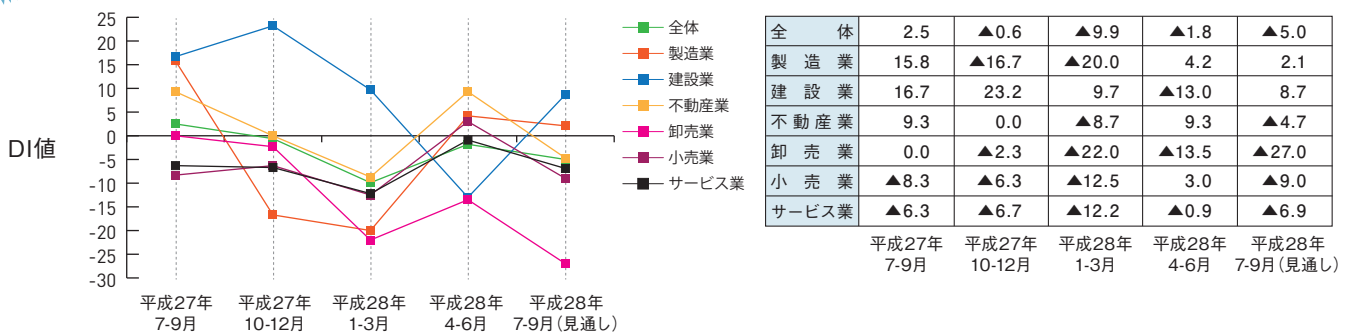
	業況	売上額	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	▲5.0	▲6.1	▲6.8	14.5	▲1.1	8.7	▲0.3	▲1.6	▲10.8
製造業	2.1	4.2	▲4.2	14.6	▲10.4	2.1	▲8.3	▲2.1	▲8.3
建設業	8.7	10.1	0.0	14.5	0.0	15.9	2.9	11.6	1.4
不動産業	▲4.7	0.0	0.0	30.2	4.7	9.3	0.0	9.3	▲9.3
卸売業	▲27.0	▲27.0	▲13.5	13.5	▲2.7	2.7	0.0	▲2.7	▲29.7
小売業	▲9.0	▲19.4	▲10.4	13.4	0.0	0.0	▲1.5	▲4.5	▲14.9
サービス業	▲6.9	▲7.8	▲10.3	9.5	0.0	13.8	1.7	▲11.2	▲11.2

概況：<DI(Diffusion Index) とは…> DI(%) = 「良い」「増加」等企業割合 - 「悪い」「減少」等企業割合

DIとは、各設問の項目について、「増加」「好転」したとする企業の割合から、「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値です。したがってDIがプラスを示している場合は、全体として「増加」「好転」したとする企業の割合が多く、景気（またはそれぞれの要素）が上向きの傾向にあることを示します。逆にマイナスを示している場合は、景気が低迷の傾向にあることを示します。

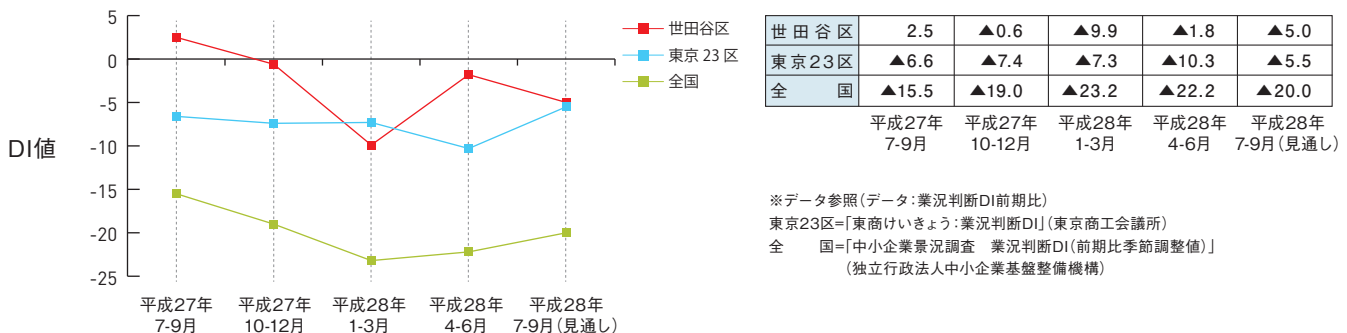
業種別の動向

今期の業種別DIは、「製造業」+4.2（前期比+24.2）、「不動産業」+9.3（同+18.0）、「小売業」+3.0（同+15.5）など5業種で改善し、「建設業」▲13.0（前期比▲22.7）のみが2期連続で悪化した。来期は、「建設業」+8.7（当期比+21.7）のみが改善する見通し。



東京都・全国との比較

「世田谷区」（▲1.8ポイント、前期比+8.1）は3期ぶりに改善。「東京23区」（▲10.3ポイント、同▲3.0）は悪化し、「全国」（▲22.2ポイント、同+1.0）は3期ぶりに改善した。来期は、「世田谷区」（▲5.0ポイント、当期比▲3.2）は悪化する見通し。「東京23区」、「全国」は改善する見通し。



経営上の問題点

1位「従業員の確保難」25.3％（前期比+2.5ポイント）と前回順位2位から1位に上昇した。2位「人件費の増加」24.7％（同2.6ポイント）と前回順位4位から2位に上昇した。3位「人件費以外の経費の増加」22.1％（同▲1.2ポイント）と前回順位1位から3位に順位を下げた。4位が同率で2項目「新規参入者の進出や同業者の増加」19.7％（同▲1.8ポイント）は前回順位5位から、「仕入単価、下請単価の上昇」19.7％（同+2.2ポイント）は前回順位8位から上昇した。7位「販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難」17.9％（同+4.5ポイント）などが前回順位から上昇した。6位「需要の停滞」19.5％（同▲3.0）、8位「購買ニーズの変化への対応」17.6％（同▲2.8ポイント）、などは前回順位から下降した。

順位	項 目	回答数	回答率	前回順位	順位	項 目	回答数	回答率	前回順位
1	従業員の確保難	96	25.3%	↑ 2	10	取引条件の悪化	33	8.7%	— 10
2	人件費の増加	94	24.7%	↑ 4	12	生産設備の不足・老朽化	26	6.8%	↓ 11
3	人件費以外の経費の増加	84	22.1%	↓ 1	13	事業資金の借入難	24	6.3%	↑ 14
4	新規参入者の進出や同業者の増加	75	19.7%	↑ 5	14	購買力の他地域への流出	19	5.0%	↓ 12
4	仕入単価、下請単価の上昇	75	19.7%	↑ 8	15	在庫の過剰	18	4.7%	↑ 17
6	需要の停滞	74	19.5%	↓ 3	16	その他	17	4.5%	↓ 13
7	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	68	17.9%	↑ 9	17	在庫の不足	6	1.6%	↑ 18
8	購買ニーズの変化への対応	67	17.6%	↓ 6	18	金利負担の増加	5	1.3%	↑ 19
9	大企業（大型店）進出による競争激化	52	13.7%	↓ 7	19	代金回収の悪化	4	1.1%	↓ 16
10	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	33	8.7%	↑ 15	20	生産設備の過剰	1	0.3%	— 20

※複数回答（3つまで選択）のため、回答率の合計は100％を超える。